

南中だより

2021.11.29 発行
(第6号)

【 師走を迎えるにあたって 】

令和3年も残すところ、あと1ヶ月あまりとなりました。今年は新型コロナウイルスの急激な感染拡大（第5波）があったものの、基本的な感染予防対策の徹底やワクチンの普及等により、現在は収束に向かいつつあります。しかし、海外では再び新型コロナウイルスが感染拡大の兆しをみせており、また国内においてもインフルエンザの流行期と重なるため、これまで以上に体調管理には気を配っていききたいものです。

学校では、今後とも感染予防に努めながら、様々な学習活動に取り組んでいきます。特に、3年生は1月から入試が始まるなど、進路決定に向けて大切な時期になります。小松島南中学校のすべての子どもたちの夢実現に向けて、全教職員で応援していきたいと思っておりますので、引き続き、本校教育にご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。



1年 家庭科（リンゴ皮むき）



2年 理科（実験）



3年 道徳

【 2年生 スポーツ大会 】

11月2日（火）に2年生スポーツ大会を開催しました。昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染防止のため、従来の体育祭の代替行事として「クラス対抗ドッジボール」等を楽しみました。それぞれのクラスが一致団結して大いに盛り上がった大会となりました。



【 3年生 遠足 ～ネスタリゾート神戸～ 】

11月9日（火）に、3年生が「ネスタリゾート神戸」に遠足に行きました。昨年は、新型コロナウイルス感染防止のために、修学旅行・遠足とも行き先を県内に変更して実施しましたが、今年は久しぶりの県外。天候にも恵まれ、楽しい1日を過ごしました。



【 1年薬物乱用防止教室 】

11月10日(水)、1年生を対象に「薬物乱用防止教室」を実施しました。小松島警察署生活安全課の方から、「様々な薬物の害や怖さ」また、「タバコの害」等について、教えていただきました。自分も…家族も…周りの人たちも不幸にしてしまう様々な薬物について、こどもたちは熱心に学習に取り組んでいました。



【 県中学校駅伝競走大会 】

11月14日(日)、鳴門大塚スポーツパーク周辺コースで、県中学校駅伝競走大会が開催されました。本校からも男女のチームが参加しました。実際に区間を走った選手、サポートの選手それぞれが全力を出し切り、男女とも素晴らしい結果を出しました。特に、女子チームは「徳島県3位」という偉業を成し遂げました。ご家族の支えとともに、先生方のご指導の下、日々の練習にひたむきに取り組んできた全ての選手の皆さんの頑張りに対して、心から拍手を送りたいと思います。



【 ありがとうのパワー 】

11月19日(金)、人権問題講演会として「河村武明さん講演会」を開催しました。講師の河村武明さんは、阿南市のご出身で現在は京都にお住まいの画家です。2001年10月、34歳の時に突然脳梗塞で倒れ、失語症・聴覚障害・言語障害・右手麻痺等の重い後遺症が残り、深い絶望感の中、左手で絵を描けることに気づくことで、また周りの人たちに常に「ありがとう」と感謝することで、ご活躍されている「日本一無口な絵描き(河村さん自称)」さんです。2003年にはTV「奇跡体験!アンビリバーボー」にもご出演されるなど、現在は「ありがとうのパワー」を伝える講演会を全国で開催されています。

ご自身の体験から「自分が投げたもの(言葉)は、必ず自分に返ってくる」ということを写真やクイズなどを通して、わかりやすくお話しいただきました。講演後、河村武明さんから、ご自身の著書「人生の中に不可能なことは意外と少ないものなんです」を寄贈していただきました。この本は図書室前に常時置いており、手に取って読んでいる生徒も多くいます。いかなる逆境の中でも、すべてに感謝することで不可能を可能にしてきた体験談が記されており、普段の何気ない生活の中でも「言葉」を変えることで、自身の、相手の人生が大きく変わること気付かされました。改めて、自身が発する言葉について、お互い大切にしていきたいものです。

